

「感動の再会」

山崎泰広さま

講義をありがとうございました。

今日の講義は、大学院に入学してから一番楽しみにしていた講義でした。というのも、私は、重度心身障害児の子どもを治療のためにアメリカに連れて行ったことがありました。その時に見かけた車いすが、座り心地がよさそうで、見た目もカッコいい。日本に帰ってから、障害児のお子さんをお持ちの方が書いたブログにその車いすが写真ででていて、シーティングという言葉も初めて知りました。それが10年前のことです。そこから、アメリカで見たカッコいい車いすを取り扱っている会社のホームページ「アクセスインターナショナル」にたどり着きました。そこで、はじめて山崎さんのことを知りました。シーティングのことを調べて、山崎さんの著書である「運命じゃない!—シーティングで変わる、障害児の未来。」を隅から隅まで読み、ますます子どもにシーティングを受けさせたいくなりました。その頃は、香川県に居住していて、問合わせるとシーティングできる場所は一番近くで大阪とのこと。ちょうど、東京に転居を決めたのもあり、9年前に東京で無事にシーティングを受けることができました。それも、山崎さんに直接。子どもの福祉機器展の会場でしたが、車いすでくると身軽に動いていて、フレームを選び、座面をつけて、抜いたり足したり。。あつという間に座りごことがよさそうな車いすに仕上がっていました。息子も気持ちよさそう。

そんなことがあり、翌年の子どもの福祉機器展でも出来上がった車いすを見てもらい、微調整をしてもらいました。その時も、あつという間。本当に手早い仕事をしてくれます。

去年、ホームページをみたらアクセスインターナショナルが業務終了とあり、山崎さんのお加減が悪いのでなければいいなあと思っていたので、今回の講義は本当に楽しみでわくわくものでした。そして、講義の内容は、期待を裏切らずというより期待以上の素晴らしいものでした。翌日の仕事中は、訪問看護の利用者さんや同僚のPTを捕まえては、「可能性は空なんだよ。無限大ってことだよ。」とか、「アメリカでは障害者になっても、あなたは何も変わっていないって言われるんだって。」とか。

もし、自分が山崎さんの立場なら、あつという間にへこんでしまい、立ち上がることもなれなかったと思う。それを、何度も何度も試練が訪れても乗り越える強さが本当に素晴らしい。今回の講義で元気をもらい、ちっちゃいことに一喜一憂している自分も見習って頑張っていこうと思えました。ありがとうございます。

追伸:小1だった息子も16歳になりました。山崎さんにあってくるよと話すと「にかっ」と笑って送り出してくれて、帰って「山崎さんに会ってきたよ」と話しかえるとやっぱり笑っていました。